実はこんなにある！

地元発のプロジェクト

早速、地域を盛り上げるために生まれた地元発のプロジェクトをいくつかご紹介します。起案者の想いや、それを支援する方の声に触れることで、地域貢献やクラウドファンディングというコンテンツがより身近なものに感じられるのではないでしょうか。

人と人をビジネスで繋ぎ、久留米を楽しく、仕事を楽しく！

「31歳で実家へ戻ると、久留米の街で仕事をする地元の仲間は少なく、かつてのような市内外の人との情報交流も乏しくなっており、街の魅力が失われている寂しさを感じました」。鵜木さんは〝久留米が楽しい、仕事が楽しい〟、そう思えるにはコミュニティーが必要だと考え、フリーランスや個人事業主、学生、企業の営業マン、出張で久留米に滞在中の方、会議室をスポットで利用したい方など、あらゆる人がビジネスの拠点として活用できるコワーキングスペースを作り、クラウドファンディングでPR&利用者を募りました。「あらゆる活用ができる場所としての魅力に加え、ココでの新たな出会いが、悩みを解決したり新しい事業に発展したりと前向きな方向へ進むよう僕たちも利用者様をサポートしていきます」。

目標金額 1,000,000円　支援総額 450,000円　支援者数 27人

久留米では初となる本格的なコワーキング&シェアオフィス！ 地域経済力アップに直結するチャレンジ。心から応援しています。

地元久留米を盛り上げたいという想いに共感しました！ これからも応援しております！ 頑張ってください！

久留米を盛り上げてもらって感謝です！ 様々なイベント企画、大変なこともあると思いますが頑張ってください！ 応援しています！

お話を伺った方 鵜木 啓光さん

[Plug-In]の代表取締役。久留米市に住む方や働いている方の「困った」を解決するため、様々な提案や人の紹介を行っている。海外のコワーキングスペースと連携したワーキングホリデー事業も構想中。

おばあちゃんたちが働ける場を作りたい

うきは市の75歳以上の元気なおばあちゃんの収入を増やし、生きがいを持って活躍して欲しいとの想いで立ち上がったのが〝ばあちゃん食堂プロジェクト〟。吉井町の[鏡田屋敷]に、おばあちゃん手作りの〝田舎のご馳走〟が愉しめる食堂ができました。「昔、入院先で出逢ったばあちゃんに救われた経験があって、思い入れが強いんです。75歳以上だと働きたくても働き先がないと言う高齢者が多く、僕ら若者と協働して保護ではなく機会を作れないかと思って」。クラウドファンディングを選んだのは周知のため。その効果は高く、特に都市部から多くの支援を得たそうです。新型コロナの影響でオープンを保留中の現在は、オンラインで自家栽培野菜セットの販売を行っています。

このプロジェクトは、未来の自分も豊かにするプロジェクトだと思うのですよね。

この取り組みが、全国の高齢者の方々の元気につながることを願っています。

ばあちゃん愛、うきは愛、素晴らしいです。応援しています！

目標金額 1,200,000円
支援総額 1,742,000円
支援者数 247人

お話を伺った方 大熊 充さん

「田舎のばあちゃんが日本を元気にする！」をモットーに掲げる[うきはの宝株式会社]の代表取締役社長。シェアオフィスの運営をはじめ幅広い事業を展開し、ビジネスに関する講演依頼も多い。

八女産フルーツの魅力を多くの人に伝えたい！

肥沃な土壌を持つ八女市はお茶の産地として有名ですが、実は四季を通じて多種多様な果物が実る福岡県下有数の産地。しかし、フルーツどころとしての印象付けを市内外を問わずなかなか浸透させられずにいました。そこで、八女のフルーツの魅力をロゴ化・PRの施策を行うことにした金井さんは、八女で長らくクラフトビール造りを行ってきた[八女ブルワリー]の矢野さんとタッグを組み〝八女産のフルーツビール〟を作ることに。「完成後、福岡市内の飲食店に卸し周知する予定でしたがコロナ禍で困難となり、クラウドファンディングを活用すると、なんと全国20ヶ所以上の地域からご購入が。福岡県外の多くの地域にまで発信ができ、八女産フルーツの認知度UPに繋がりました」。

目標金額 100,000円　支援総額 598,400円　支援者数 128人

あまおうのビール美味しそうです。ラベルもおしゃれで飲んでみたくなりました。八女は祖父の出身地なので、前から行ってみたいなあと思っています。届くのを楽しみにしています！

以前八女へ行った時、その自然に感動しました！ ビール楽しみです！

福岡の新しい名物になってほしいです！

お話を伺った方 金井 隆太さん

福岡市にあるブランディングカンパニー[CROMAGNON&Co.]のプロデューサー。全国各地を飛び回り、企業の意味や本質を問い、ブランド構築・事業PRのサポートを行っている。